



医歯学総合研究科大学院特別講義／お茶の水ニューロサイエンスセミナー  
(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工先端研究特論)

## 神経・精神疾患の病因・病態仮説としての マルチモーダル GABA

演者

福田 敦夫 教授

浜松医科大学医学部 神経生理学講座

日時

2018年7月3日(火) 18:00 - 20:00

会場

M&D タワー 2階 共用講義室 2

講演要旨

[Cl<sup>-</sup>]<sub>i</sub>はCl<sup>-</sup>を排出するKCC2と取込むNKCC1により制御され、GABA<sub>A</sub>受容体は[Cl<sup>-</sup>]<sub>i</sub>が高い未熟な脳では傍分泌による持続性脱分極で神経細胞の発生や移動に関与する。やがて発達によるKCC2増加で[Cl<sup>-</sup>]<sub>i</sub>が下がるとGABAは抑制性神経伝達物質として働くが、[Cl<sup>-</sup>]<sub>i</sub>増加すると時として興奮性にもなる。このように、GABAの生理作用や作用機序はダイナミックに変化する極めて多様なものであり、このマルチモーダルGABAへの摂動は、神経疾患の病態や発達障害性の精神疾患の病因にもかかわる。

多数の皆様の御来聴をお願い申し上げます。

担当：脳神経機能外科学分野 前原健寿 Tel: 5803-5266

ONSA (代表: 神経病理学分野 岡澤 均)  
事務局: 神経機能形態学分野 (田口・寺田) phone: 03-5803-5149  
FAX: 03-5803-5151, E-mail: onsa-office@umin.ac.jp